

平成28年度 経営発達支援計画における実施事業内容と評価

小千谷商工会議所の平成28年度の経営発達支援計画に基づく事業について、実施した事業内容と自己評価した結果を掲載しました。評価については、右の評価基準に従って評価しました。(日商の基準に準拠)

事業内容に掲載した各事業は、先日関東経済産業局及び日商へ提出した「実施状況調査」の回答要領に従っています。

評価内容	点数
計画以上に達成した	5
計画通りに達成した	4
概ね計画通りに達成した	3
計画通りに達成できなかった	2
実施しなかった	1

※ 事業内容のゴシック体は本年度の補助事業

事業分類 / 事業項目 / 事業内容	評価	備考
1. 個社支援		
地域の総合経済団体及び小規模事業者支援機関としての役割を踏まえ、地域内における小規模事業者への中長期的な支援事業の内容。		
(1) 経営分析 小規模事業者の販売する商品又は提供する役務の内容、保有する技術又はノウハウ、従業員等の経営資源の内容、財務の内容、その他の経営状況の分析。		
a. 小規模事業者経営改善資金（マル経）推薦（5件） b. 経営分析セミナー（全2回、延べ59名） c. 経営相談会（9回、18件） d. 記帳機械化・記帳指導推進業務（93件） e. 小規模事業者持続化補助金申請（7件）	4	・マル経の利用率向上を検討。 ・セミナー参加者、相談者に対する継続的支援が必要。
(2) 経済動向調査 各種調査を活用した地域の経済動向に関する情報の収集、整理、分析及び提供。		
a. 経済動向調査（年1回、会員916社対象、回収633社、回収率69%） b. 会員景況調査（年4回、111社対象） c. 中小企業景況調査（年4回、30社対象） d. 小千谷鉄工電子（協）景気動向調査（年4回、63社）	4	・経済動向調査の有効利用を検討。
(3) 需要動向調査 小規模事業者の販売する商品又は提供する役務の需要動向に関する情報の収集、整理、分析及び提供。		
a. 需要動向調査（年1回、小千谷市民676名対象、回収603名、回収率89%） b. 部会活動における各種視察会等の開催（卸1、工業2、交通1、観光1、諸業1）	4	・同上
(4) 事業計画策定支援 経営状況の分析結果に基づき、需要を見据えた事業計画を策定するための指導・助言。当該事業計画に従って実施される事業に必要な伴走型の指導・助言。		
a. 小規模事業者経営改善資金（マル経）推薦（5件） b. 小規模事業者持続化補助金申請（7件） c. 経営計画作成支援個別相談会（1回、5名） d. 経営セミナー（1回、15名） e. NICO緊急経営安定化支援事業（1件）	4	・経営改善計画作成など実務的な指導が必要。
(5) 創業支援 地域内の開業率引上げと開業後の持続的安定化を図るため、開業計画策定及び開業後に必要な伴走型の指導・助言。		
a. NICO起業チャレンジ奨励事業申請（3件） b. 創業塾（全5回、12名） c. おぢやで開業！応援事業の支援（3件）	4	・開業後の継続的支援が必要。
(6) 販路開拓支援 新たな需要開拓に寄与する事業として、マスメディア、各種広報誌等による広報、商談会、展示会、即売会等の開催又は参加、ホームページ、ソーシャルメディア等のIT活用。		
a. 海外展開支援セミナー（1回、22名） b. ソーシャルメディア活用セミナー（1回、18名）及び個別相談会（1回、4名） c. 小千谷鉄工電子（協）事務局として各種展示会出展支援（11展示会、14社）	4	

事業分類 / 事業項目 / 事業内容	評価	備考
2. 面的支援（地域経済活性化事業） 地域の魅力の特性を踏まえた地域ブランド化、賑わいの創出等による地域活性化に資する事業への取り組み。		
（1）地元産品を使った地域おこし 地元特産品のブランド化、新商品の開発と販路開拓を行い、生産者と企業のマッチングを図る。		
a. 小規模事業経営支援事業費補助金 地域振興推進事業（ちまき総選挙17作品、来場者400名） b. 小千谷地域ブランディングプロジェクト（新潟大学と連携） c. 地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト（7委員会＝観光ビジョン、地酒開発、ブランド商品、絵紙、おぢやリゾート、リーダー育成、情報発信）	3	
（2）基幹産業の技術力向上と後継者育成 テクノ小千谷名匠塾の運営を通じて後継者を育成すると共に、産学連携による技術レベルの向上を図る。		
a. テクノ小千谷名匠塾 技術支援センターの運営（33講座、延べ74名） b. 技能検定の試験補助（1回、43名）	3	・鉄工電子（協）の事業数が多く、計画通りの遂行困難。
（3）商業者・商店街活性化事業 イベントのリニューアルと新規イベントの開催により、中心市街地へ人の流れを還流させ、賑わいと活力ある地域商業の再生化を図る。		
a. 小千谷うまいもの祭（1回、43店） b. おぢやこいこい100円笑店街（2回、延べ127店） c. おぢやまちゼミ（2回、延べ52店） d. OJIYA New まんぷくマップ作成事業（1回、39店）	4	・復興基金終了による財源確保の問題。 ・商店街の主体的参加の促進。
3. 支援力向上のための取り組み		
他支援機関との連携による支援ノウハウ等の情報交換と経営指導員等の資質向上等に関すること。		
（1）他支援機関との連携による情報交換 他の商工会・商工会議所、支援機関及び専門家等と連携し、各地域の小規模事業者や需要動向、支援ノウハウ等に関して情報交換することにより、新たな需要の開拓を進める基盤構築を図る。		
a. 中越地区商工会議所指導業務連絡会議・金融指導会議 b. 中小企業相談所運営会議、エキスパート・バンク報告会 c. 北陸信越ブロック中小企業相談所長会議 d. よろず支援拠点 関係機関連絡会議 e. その他	4	
（2）経営指導員等の資質向上策 記帳指導、税務指導といった従来の経営指導に必要な能力向上に加え、小規模事業者の利益確保に資する支援ノウハウの習得及び経営状況の分析結果等を組織内で共有する体制の構築を図る。		
a. 経営指導員研修会（年4回、4名） b. 中小企業大学校東京校での専門研修受講（4名） c. 経営指導員資質向上研修（全5回、1名） d. 経営指導員向け小規模事業者支援研修（1名） e. 支援担当職員研修（基礎3回・能力向上7回、5名） f. 経営支援フォーマット作成 g. その他	4	
4. 事業評価の体制		
事業の成果、評価及び見直しをするための仕組みに関すること。		
（1）事業評価委員会の設置～評価結果をホームページに掲載 外部有識者を活用し、事業の成果、評価及び見直しを行い、その結果について公表するなど効果的なPDCAサイクルの構築を図る。		
a. 有識者から成る事業評価委員会を立ち上げ。 b. 5/19 第1回事業評価委員会を開催。 c. 平成27年度事業評価を会議所HPへ掲載。 d. 2/7 第2回事業評価委員会を開催。	3	

事業全体の平均評価	3.7
-----------	-----

